

# ナニージャ

「ナニージャ」は待ち時間に効く読みグスリ

発行元 徳島県立中央病院広報委員会  
2014・10月号



注：これは8月のサンマです。

## こちらナニージャ院内薬局

～オブラートについて～

薬剤局 田中 浩基



はじめまして、薬剤師の田中と申します。

ところで皆さんは、オブラートをご存じですか？歌う時のテクニック？ピブラートではありませんよ。ブラジルでの挨拶？それはオブリガード(ポルトガル語でありがとうの意味)。

冗談はさておき今の若者はあまりオブラートになじみがないかもしれませんが(私も使った事ありません。)昔から薬を飲む時や水あめやキャラメルなどのお菓子の包装等に使われていました。現在のオブラートはデンプン質で作られた透明な紙状ものです。しかし昔はそうではありませんでした。



ボンタン飴

### ①歴史

オブラートの歴史はキリスト教のミサで供えられる聖餅が起源と言われています。聖餅は丸くて薄いウエハースのようなものでした。理由は分かりませんがいつしかこのウエハースのようなものが薬を服用する時に使われるようになりました。これがオブラート(専門的には硬質オブラート)の始まりといわれています。その頃は硬質オブラートを水の入った小皿に浮かべてその上に粉薬を盛り、軟らかくなるのを待って水と一緒に飲んでいたようです。

さて、日本には明治初期に輸入されたと言われていいます。当時はとても高価なものだったようです。現在の薄くて柔らかいオブラート(専門的には軟質オブラート)は三重県の医師小林政太郎氏が発明したとされています。もっと簡単に薬を飲む事はできないだろうかと考えていた小林氏が正月に寒天料理を作っていた時に、たまたま流れ落ちた寒天が薄い紙片状に広がり固まった所を見てひらめいたのが発明のきっかけです。大正末期あたりには製法も確立してオブラートの品質もよくなりました。そして、現在のオブラートが誕生しました。現在は薬の製剤技術やお菓子の包装技術の進歩によりオブラートの使用は少なくなっていますが、今でも根強い人気があるようです。

### ②雑学

“オブラート”ってカタカナなので海外でも通じると思いきや実際は通じません。オブラートはオランダ語の「oblaat」またはドイツ語の「oblate」が語源になったと言われています。ちなみに英訳は「eatable paper」です。また日本のオブラートは日本独自のものです。欧米ではあまり見かけないようです。欧米人にオブラートで包んだお菓子をあげるとオブラートを包み紙と思って剥がしてしまったり、そのまま食べると教えてもなかなか信じてくれないようです。

前述したとおりオブラートは薬を飲む時やお菓子の包装等に使われていますが実は薬用とお菓子用でオブラートに違いがあります。薬用では厚さが20μm、お菓子用が40μmなのです。もしかしたら感覚がするどい方なら比べて違いが分かるかもしれませんね。

### ③耳より情報

最近オブラートは使いやすいようにいろいろ進化しています。たくさんありますがここでいくつか紹介します。



最初から袋状になっていて、普通のオブラートより使いやすくなっています。



飲みやすいゼリー状のオブラートで、ゼリーごとつるつると飲み込めます。

その他に味のないオブラートに味をつけて飲みやすくしたものがあり、イチゴ味、ブドウ味、チョコ味等いろいろな味があるみたいです。

お薬の時間が待ち遠しくなるかも～





いきなりコーヒーレイク  
皮膚科 敷地 孝法

## 「徳島大学医学部サッカー部」

一昨年に次いで、今年の西日本医科学生総合体育大会（以下、西医体）のサッカー部門において我がチームがみごと優勝した。3年間で2度の優勝、これは快挙中の快挙である。

私も小学校からサッカーを始め、中学、高校、大学、そして医師になってからも学生の練習に参加し、西医体にも10年間以上は同行した。さぞかし学生にとってはうとうとしい存在だったろうなあ。それが40才を超えて家庭がゴタゴタしてから約10年間は全くサッカーそのものから遠ざかっていた。ところが最近余裕ができたおかげで、ふと今のチームがどれ程強いのか知りたくなり7月初旬から10年ぶりに練習に参加することとした。練習のうち週2回は夜7時から城西中学グラウンドのナイター施設を借りてのものだったので非常に家から近かった。

私はクラブの卒業コンパなど夜の宴会でたまに顔を出す程度だったので、30名を超える学生の顔も名前もほとんど知らない。こちらが無理にくだけて話しかけても、さすがに向こうも緊張しているようであった。10年ぶりのスパイク。足の筋肉が落ちたのか少しブカブカ。太もも周りも学生時代は優に60cmを超えていたのに今はどうだろう、白くて細くてこりやおじいちゃんじゃ。とりあえずリフティングを、と。あれ、蹴れんぞ、ありゃりゃ、あれ〜〜。自慢じゃないが昔は500回はできていたボールリフティングが何と5回もできないではないか！人知れず赤面。

練習が始まった。かけ声が乾いた夜空に響き渡る。「集合！」主将の一言で円陣を組む。本日の練習メニューをホワイトボードで説明。「よし始めよう！」「よし！」一斉に皆が散り、各自がアップ（ウォームアップ）の準備にとりかかった。種々の走り、3対1、四角形でのパスアンドGo、ロングキック。ここまで見た時点で、「こりゃすごいな・・・」と感じた。ミニゲーム形式の5対5が始まったときは、鳥肌が立っている自分に気がついた。

噂には聞いていたが、主将（4年生）のM君はヴォルティスユース出身で城南高校時代には全国の高校選抜。5年生のU君はガンバ大阪ユース出身で、何とこの2人は現役の徳島県国体選抜の選手であった！文武両道とはよく聞かすが、ここまでいくと逆に嫉んでしまう。おまえらいつ勉強したんじゃ〜〜〜！けっ、どうせ性格は悪く、自信過剰で下級生からの信頼は技術だけなんだろうと思いたかった。ところが、そういう選手に限って礼儀正しく控えめで、私みたいなやつが言うことにも真剣に耳を傾けてくれる。さわやかで日焼けした笑顔がすがすがしく、安売りの飲み物を差し入れただけでわざわざダッシュで挨拶に来てくれる。練習中は厳しいが、普段は冗談ばかり言って後輩達をなごませる。『天は二物を与える』だな、こいつらは。他のメンバーのスキルも非常に高く控え選手の層も厚い。はっきり言って私が見てきた（自分の時代も含めて）中で史上最強のチームであると確信した。

7月26日、対岡山大学との練習試合に岡山まで同行した。相手も結構強かったが4-0と快勝。結果的には大人と子供の試合だった。『個』のレベルが高い上に組織プレーもしっかりしている（システムは4-4-2。ややこしいですね。私もわかりません。）。フィジカルも強いし運動量もかなり豊富。これは何かえらいことをしでかすだろうと試合を見て予感した。

大会は金沢で開催された。遠い上に台風の影響・仕事の都合もあり実際の試合を見に行くことはできなかったの、大会期間中はキャプテンのM君と毎日電話やLINEで連絡を取り合った。試合が終わる度に電話があり、「〇〇大に△対□で勝ちました。」という最初のフレーズはついに決勝戦まで続いた。いや、決勝戦は「優勝しました、先生！」だったかな。トーナメント戦は負けたら終わりなので、1試合1試合気が抜けない。私のアドバイスなんか素人の戯れ言であるが、M君は、「本当に参考になりました。接戦もありましたが延長戦で決めたのは僕で、それも先生からアドバイスいただいたヘディングシュートです。」・・・そうなのである。私はしつこくヘディングで点を取ることを力説していたのである。その報告を聞いて、50を過ぎたおっさんが不覚にも泣いてしまった。最後に実際に送ったメールを添えて終わりにします。

### ＝初心に帰れ＝

ボール扱いを丁寧に。ミスを一つでも減らすこと。  
シュートは押さえてグラウンダーを狙い、詰めるのを忘れないこと。  
ディフェンスはカバーリングを忘れないこと。  
ヘディングは絶対逃げないこと。格闘―上等やないかと相手を威圧せよ。  
セットプレーを大事にすること。場合によりK師匠が上がってもよい。  
自分がしんどいときは相手もしんどい。  
下を向くな、上を見ろ。しんどいやつがあえて声を出せ。  
ここまで来たら精神力の勝負。マネも含めた全員が声を出して集中しよう。  
俺はおまえらを信じてる。しんどいときは上を見ろ。雲の谷間に俺の姿が見えるはずや。  
お前らは強い。  
しかし、あくまでも挑戦者の気持ちで最後までやりとせ。

待ってる。



注： 金髪に染めているのは大会用で、新学期が始まる前には染め直します。



## 『私の闘病生活』

徳島県立中央病院糖尿病患者会 会長  
福永 高治

11月4日は世界糖尿病デー

私は今から9年前（平成17年）に京大病院の移植外科で生体肝移植手術を受けたレシピエントです。暴飲暴食と運動不足の生活から今でいうメタボ（脂肪肝）な体型となり、精密検査では肝硬変と診断されました。やがて、肝硬変の最終の到着駅である肝臓癌を発症。癌の手術についてはカテーテル閉栓術による抗癌剤治療を3回行いました。しかし、3回目の治療を終えて退院時に主治医からは『4回目の癌ができた場合には抗癌剤治療は非常に難しい。あなたの生きる道は生体肝移植しかありません…』と言われました。さいわい息子からドナーとして肝臓の提供を受けることができました。

移植後の入院生活は拒絶反応、副作用などほとんどなく順調に回復し、術後1ヶ月を待たずして退院することができました。しかし、退院後の生活は生野菜や刺身、生ものはもちろん食べることができず、不自由な食生活が半年ぐらい続きます。また、術後からは免疫抑制剤など多くの薬を服用しているため血糖値が上がり、退院後はインスリンを毎食後打っていました。さらに、外出時には数年間マスクを着用して感染症には注意を払った生活でした。

退院当初の京大病院には数週間に一度通院していましたが、遠隔地につき退院時には地元の総合病院として中央病院を紹介してもらい交互に通院をしています。

その中央病院でも消化器科と内科の2科の診察を受けています。退院後3年ぐらいうると血糖値も安定し、インスリン投与から服用薬に変わりました。

今では3ヶ月に一度通院していますが、中央病院では糖尿病患者会があり私は平成21年4月ごろに入会し、ほかのたくさん糖尿病患者らとともに情報交換や勉強会で糖尿病対策を構築することができました。活動には看護師、管理栄養士ら多くの病院スタッフも加わっており、また、内科医もその都度出席してくれるため非常に心強く感謝しております。さらに活動は院内での食事会、レストランでの食事会。さらに、自然豊かな屋外でハイキングやウォーキングなどもあり患者同士の交流もはかられております。



今後も「いのちの贈りもの」をもらった私は、通院生活の中で生かされている人生を謳歌したいと考えております。最後に多くの病院関係者らに感謝申し上げます。

撮影：平成17年11月30日

編集委員からのコメント：

福永さんより今回の原稿に添えてナニージャへのメッセージをいただきました。‘旧病院の頃よりナニージャを楽しみに通院されていたこと。ナニージャに病気と闘っている患者さんの記事があれば、さらに素敵なものになるのではないかと思っていたところに、とある看護師さんからの紹介があって、掲載が実現し感謝している‘という内容でした。

今回の掲載にあたりナニージャ編集員一同からもお礼申し上げます。



## 研修医が主役

初期研修医 美馬俊介

ナニージャご愛読の皆様、初めまして。初期研修医の美馬俊介と申します。

僕はいままで徳島県から出て生活したことがなく、よその土地を知らずに過ごしてきましたが、2年前に1度だけ機会をいただきまして1ヶ月沖縄で生活しました。今回はそのときに知った観光情報をここに書きたためようと思います。

【ベストシーズン】真夏。海も美しく、外は暑いですが街は活気にあふれています。6月にはハーリー、7月にはエメラルドビーチで花火大会、8月にはエイサー祭りが注目です。

【宿泊・移動】利便性でいえば断然那覇市中心部のホテル（飲み屋がたくさんあるのは松山町）。本島各地を観光する際、おそらくレンタカー移動になると思うので、やはり街中が便利。那覇市内ならモノレール移動が可能です。リゾート性が強いのは、石垣島です。

【危険性】交通事故の多さに注意。あとは米兵に警戒。車のYナンバーは米兵が所有しているものという意味。近寄らない。事故を起こすと沖縄県警とミリタリーポリスの両方が介入するため非常に厄介。

【食事】全体的に安くておいしい。御賞味いただきたいのは、ソーキそば（飲んだ次の日とかにおいしい）、しまらっきよの天ぷら、ステーキ（サムズが間違いないでしょう）。

ジャンクフードは有名なタコス屋があります。外食産業が盛んで、食べる場所には困りません。全然有名じゃない地元民の飲み屋みたいところが一番楽しい。お酒はオリオンビール、泡盛。古い泡盛は古酒（クースー）という。

【観光】北部、美ら海水族館（デートにおすすめらしい。詳細不明。一緒に行く異性がいなかったため断念した。）、古宇利大橋（絶景。晴天の日に北部ドライブはここを目標にするのはあり）、青の洞窟（友達が行った。よかつたとの噂、ダイビング可能）。中部～那覇市内、首里城は普通（郊外に有名な城跡がちらほらある。派手さはないが風情を感じる）、DFS（おもしろまちにある。結構安い）。那覇市で食事をする店を選ぶのは非常に楽しい。南部、斎場御獄（せーふあうたき、と読む。パワースポット。）、ガンガラーの谷（鍾乳洞探検）。南部は海もきれい。

【ビーチ】ベストビーチ三強はすべて離島。本島では西側のビーチがよいといわれるが、離島のそれには及ばない。ダイビングも離島の方がよい。渡嘉敷島なら本島から日帰りで行ける。

【総括】きれいな場所がとても多いので、カメラを持って行くことを強くおすすめします。細かいところは、トリップアドバイザーなどを参考にしてもよいと思います。

沖縄に行かれることがあれば、ぜひ参考にしてみてください。駄文失礼いたしました。





## 読書の秋 病院図書室の案内

5階南病棟 木野 綾子

10月27日から11月9日までの2週間は読書週間です。この期間に本に触れてみるのも良いのではないのでしょうか。

ところで、中央病院に図書室があるのはご存じですか？3階の北側（レストランの隣）に位置する図書室にはスギの書棚に寄贈いただいた本がぎっしりとつまっています。病院の図書室なので“医学関係の本が多いのでは？”と思われる方がいるかもしれませんが、その期待を裏切り？漫画も含めあらゆるジャンルの本がそろっています。残念ながら新刊本はありませんのでご了承下さい。図書室の本は貸し出しもできます。貸し出し手続の必要はありませんので、お気軽にご利用ください。読み終えた本は図書室のカウンターに返却、閉館の場合は、図書室前の返却ポストをご利用ください。

図書室の開館時間は平日の午前10時から午後4時までです。ボランティアの方が駐在してくださる日もあるので、読みたい本などを伝えると、探してくださるかもしれません。車椅子でも入れるスペースがありますので、図書室に行きたい方は、看護師に声をかけてください。

病院の図書室の楽しみ方がもう一つあります。それは、壁面に展示されている中央病院の歴史がわかるパネルです。白黒で病院の歴史を感じていただけたと思います。時間があればパネルの中から知っている人を探してみてください。もしかしたら現在働いている職員の若き日を見ることができるともいれません。

私は本が大好きなので、時々図書室を覗いています。昔読んだけど、もう一度なんて手に取る本もあります。病院の中にある「図書室」。たくさんの方にご利用いただけると、本も喜ぶことでしょう。



ボランティアさんが駐在している日もあります



図書室（3階北側）



## 中央病院で働く ママの奮闘日記

～ハンドメイドの紹介～

精神科 橋本直子

私はやまもも保育園（院内保育園）に3歳の女の子、1歳の男の子、二人の子供を預けながら勤務しています。保育園のバザーに寄付したハンドメイドについて原稿を依頼されたので紹介させていただきます。

ハンドメイドを始めたきっかけは、子供ができて仕事以外なかなか家を出られなくなったことでした。子供が眠っている時間以外ほとんど自分の時間はなく、寝たり起きたりを繰り返すその短い時間に何かできないかと考えているとき、保育園から生後6か月の娘にセパレートの服を準備するよう言われました。60サイズのセパレートの服は少なく、ぴったりの服はなかなか見つかりませんでした。それなら自分で作れないかと初めてミシンを購入したのです。

でも、ミシンなど小学校の家庭科でさわった記憶がある程度で、糸のかけ方から混乱し、布をかみこんだり、針を折ったり。トラブルだらけでした。縫い目のゆがみやほつれは当たり前で、仕上がりがひどいものでした。それでも子供が着るとなぜかどうにかかわいく見えるのです。

子供が2人になり、お揃いの服やかばんを作るのが楽しみになりました。最近、娘は「ミシンかたことのお部屋いこう」「ワンピース作って」と言い、はぎれを並べてへらで切るまねをして遊び、息子もわからないまま布や糸を箱に詰めたり出したりしているそばで作れるようになりました。まだまだ邪魔するばかりですが、いつかは娘と一緒に作れるかなあと楽しみにしています。去年は保育園の子供の棚に合うようお揃いの通園バックを作ったところ、保育園の先生から評判がよく、バザーへ寄付することになりました。毎年保護者が自宅にある不用品や農産物などいろんなものを寄付して開催しています。今年も何か作ろうかなと検討中です。



このクオリティの高さ…どうみても、ハンドメイドには見えないう。仕事して、一番手がかかる歳の2児の子育てして、そして夜な夜なミシンに向かう橋本ママ、素敵です（あ）

# ミスティの

## 徳島ヴォルティス応援コーナー

眼科 武田 美佐

(通称：ミスティー)



### 4 藤原広太郎

DF 175cm 24歳

東京都出身。FC東京U-18から立命館大学を経て徳島ヴォルティスに大卒新人として加入した。

冷静な分析力と安定感のある守備でゴールを守る。



徳島ヴォルティス提供

# 第5回 『徳島ヴォルティス選手へ突撃インタビュー』

皆さんこんにちは、ミスティーです。  
今回は、昨年、徳島ヴォルティスに加入し、公式戦全試合に出場した藤原広太郎選手へインタビューしてきました。

**ミスティ** 前節（8月23日）アルビレックス新潟（戦）での勝利、本当におめでとうございませう。

**藤原選手** ありがとうございます。

**ミスティ** 観戦していても本当に楽しくて、こんなヴォルティスが見たかったと感じたのですが、どうでしたか？

**藤原選手** そうですね。後半戦に入ってからJ1のプレースピードにチームも個人的にも大分慣れてきた中で、相手に合わせず上手くボールを取りに行けたことが勝利につながったと思います。練習にもチームとしても個人としてもすごくポジティブに取り組んでいたもので、やはり勝つことが大事だなという印象ですね。

**ミスティ** 藤原選手はよく、「去年ルーキーで公式戦全試合に出場した」と紹介されていますが、大学時代も「4年間最多出場賞」ですか？



**藤原選手** コンディションを保つ事、プレーに波が出ないようにコンスタントにある程度の動きをする事は、高校生の時からすごく意識していました。

**ミスティ** 今年もヴォルティスのサイドバックと言えは藤原選手というイメージがあります。背番号も23から4に変わってすごく期待されているという印象を受けますが、どうですか？

**藤原選手** 去年シーズンが終わった後に番号を変えるかと聞かれたときは、そういう部分で評価されていることが嬉しかったですし、一桁の番号を付けることで責任感も出てきたので、自分としてはすごく良かったなと思っています。



**藤原選手** 4番は好きな数字です。

**ミスティ** 新しい選手が加入した後、すごく守りが固くなったという感じがします。

**藤原選手** 村松選手もエステバン選手も守備に関してはすごく良いものを持っていますし、チーム全体で献身的にやっている事が良いと思っています。

**ミスティ** 残り13節ありますが、どういう目標を持たれていますか？

**藤原選手** やはりチームとしては残留することが第一条件です。今の流れで行けばある程度ついて行けると思うのですが、連敗でチームの流れが悪くなると難しいかなので、前節のような試合をコンスタントに続けていかなければならないと感じています。



徳島ヴォルティス提供

**ミスティ** 藤原選手自身はどんな選手を目指されているのでしょうか？

**藤原選手** 息の長い選手というか、なるべくプロ生活を続けられる選手になりたいと感じています。

**ミスティ** やはりそのためにも怪我をしないという事は大切ですね。

**藤原選手** 観光地は去年を含めて全然行っていませんね。あまり外には出ていないです。

**ミスティ** シーズン中はやはり集中したい？

**藤原選手** そうですね。去年もそうですが、今年は一試合の疲労度が違うので、外に出ないですね。

**ミスティ** 前節の新潟戦は、その前の天皇杯にどれだけ選手をかけたかで明暗が分かれたという感じがしますが、一週間で二試合はやはりきついですか？

**藤原選手** きついです。しかも新潟は延長120分やっていましたし。実際に試合をしてみると、ミスも多かったし動いていなかったですね。その辺は、スタッフはもちろん、天皇杯に出てくれた選手達ともチームとして戦えたと思います。

**ミスティ** 突然ですが、徳島で藤原選手がおいしいと思った食べ物を教えてください。

**藤原選手** 鳥料理です。あと、海鮮料理のお店に行くとかカメラがすごくおいしく感じますね。味噌汁とかもおいしいです。

**ミスティ** 最後にナニージャ読者に一言お願いします。

**藤原選手** シーズンも残り少ないですが、チームとしてはJ1残留を目標に頑張るので、これからも応援よろしくお願いします。

### 【取材して】

藤原選手は、将来のことも見据えて今のプレーをされているんですね。

(奥が深い...)

気が向いたら徳島の自然を味わってみて下さいね。



# 酔っぱらいの たわごと



桜眉会  
湯浅安人

「酔っぱらい、パリに行く」

8月上旬の昼、妻とパリのカフェにいた。午前中にルーブル美術館で歩き回り、腰が痛くなつて、たまたま美術館横のカフェに入った。店の男性スタッフもイケメンだったが、女性がこれまた美女ぞろい。私の目の高さぐらいにウエストが

個のハート型になっていたことである。パリ名物の路上席ではなく、暑い日差しを避けて涼しい店内のテーブル・(田舎者ですなあ)。妻はポテトをドキドキと私の酒眼はドウイッチとジュース、私はオムレツとビール。会計の時、美人スタッフにはついチップをはずんでしまうこの酔っぱらいに、毎度の如く妻の冷たい視線が・・・。

ホテルに帰って、まだビールが飲みたかったので、一人でホテル内のバーへ行った。カウンター内には栄養豊富なおねーさんがいて、愛想よく「ハロー」と。あ、英語で大丈夫なんやと安心して、「ビア・ブリーズ」と頼んだ。すると彼女は「ホット オア コールド？」と。エツ、エツ、ホットビール?? さーすが花の都パリですなあ。

でも、ここは冷たいビールでと思い、「コールド」と答えた。冷蔵庫から取り出したものをゴソゴソしているの、のぞき込んで見ると、なんと牛乳パックのふたを開けているではないか。

「ノーノー、ノットミルク、ビア、ビア」というと、彼女は大笑い。(おっちゃん、なんでバーにミルクを飲みこないかんのや。それともフランス人はバーでホットミルク飲むんかい?)



冷たいビールを気持ちよく飲んで、次はウイスキーを頼んだ。すると、ウイスキーと氷を入れた後、おねーさんがこちらを向いて「ウイスキーとミルク? (ミルク足す?)」。

これまた大笑い。おねーさん、ツッコミうまいがな。妻がいなかったのも、もちろんチップは多めであった。このネタを、同行の若い女性添乗員に提供してきたが、はたして次のツアーで、時間つぶしに披露してくれているだろうか?

(追) ドイツカフランチのどこかで、一回だけ確かにセミの鳴き声を聞いた。しかし、アルコールの血中濃度をずっと高めに維持していたため、正確な場所は忘れてしまった。



「あなたの声ポスト」を  
リニューアル  
しました!

日頃より、皆さまには「あなたの声ポスト」にご協力いただきありがとうございます。

このたび、一階電話室に設置しておりました「あなたの声ポスト」を移設しました。新しい移設場所は、一階総合受付前です。これに伴い、記帳スペースを設置し、掲示板も移動しました。

これからも、いただいたご意見を参考にし、改善に向けて努力してまいります。これからもご協力とご理解のほど、よろしくお願ひします。



## 【編集後記】

○ツチンN川→吉○家→J熱ホルモン→Gスト→Gラッチェ→Bジュール→スシ○→MC Donald

仕事終わりの帰り道の192号線には、ダイエット中の私の理性を壊しにかかる飲食店が建ち並ぶ。仕事から解放され、小腹の空いた隙だらけの私にむかって、店の看板たちが通せんぼし、容赦なく帰宅を妨害してくる(ように見える)。誘惑に負けないようにこっちも対策を講じてはいる。車線を右に移したり、少し速度をあげたり、目をふさいだり(運転いけるか?) 仕事が終わっても、私の戦いは終わらないのだ。

ナニージャ編集員 有馬 信夫



徳島県立中央病院 基本理念  
県民に親しまれ、  
信頼される病院となる

5階南病棟スタッフ一同